

『21世紀フォーラム』

(企画案)

ジェンダー協働推進室

1. 講師

高橋 裕子 氏（津田塾大学 学長）

【略歴】

1980年津田塾大学学芸学部英文学科卒業。89年米・カンザス大学でPh.D.取得。
90年桜美林大学専任講師、93年から助教授。97年津田塾大学助教授、2004年から教授。
2016年4月から現職。アメリカ学会会長。日本学術会議連携会員。
専門は、アメリカ社会史（家族・女性・教育）、ジェンダー論。
著書に『津田梅子の社会史』（玉川大学出版部、アメリカ学会清水博賞）等。

2. テーマ（キーワード）

『社会における女性の活躍促進 “変革を担う、女性”』（仮）

—上位職登用とリーダーシップ

（女性たち自身が昇進を望まない、人材がいない、のは本当か？）

—ロールモデルの重要性（ロールモデルが担う役割）

—様々な意思決定の場に参画する女性が増えていく、ということ

—「TSUDA VISION 2030」“変革を担う、女性”から考える

—上位職からみた男女共同参画（女性へのエール）

—大学（教職員）の意識改革

—学生にとって安心・安全なキャンパスとは

—アドミッションポリシーから考える性の多様性の尊重

3. 対象

教職員、学生、一般（地域の方々）

<参考：津田塾大学における女性研究者支援>

- ・平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業 採択
女性研究者支援センターを設立し、女性研究者の研究活動を支援するための環境整備、女性研究者の裾野拡大のために女性研究者と女性学生との交流の場の提供、特に女性理工系学生向けのキャリアパスの相談の充実化等の取組を支援した。
- ・平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」採択（代表機関：電気通信大学）
共同実施機関の日本電信電話株式会社先端総合研究所と共に、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や研究力向上のための取組、上位職への積極登用に向けた取組を支援している。